

おとくにしんぶん ②

2013

http://www.otokuni-jc.org/

発行/公益社団法人乙訓青年会議所 〒617-0826 長岡京市開田3丁目10-16 長岡京市立産業文化会館2F 編集/JC 運動情報委員会

Contents

京都会議

委員会紹介

乙訓の元気



乙訓の元気

一月十四日。あいにくの雨の中、向日市、長岡京市、大山崎町それぞれの成人式が盛大に開催されました。

多くの成人とそれを見守るご来賓、ご親族など多くの方が祝福に駆け付けるなど温かい雰囲気の中での開催となりました。また、それぞれの会場では新成人を代表する方々から、力強い決意が表明されました。

今年成人を迎えられる方が歩んでこられた二十年間は、この国にとって激動の二十年であったと言えます。国際情勢は冷戦が終結した後、従来の東西対立という構図が崩れ、アジアを中心とした新興諸国が台頭するなど大きく変化をしました。経済的には、バブルが崩壊しこの国を取り巻く環境はより一層厳しいものとなっております。政治の世界においても、連立政権の発足による五十五年体制の崩壊を経て以降、二大政党による政権交代、さらには第三極勢力

力が絡み、いまだ混乱の状況を脱していません。また、阪神大震災と東日本大震災という二度にわたる大災害もありました。

そうした状況を考えれば、これからのこの国、この地域の見通しはまだまだ不透明な今日。だからこそ、若い力が新しい社会を切り拓いていくための大きな原動力になります。

成人を迎えられた皆さんが、「乙訓の元気」の原石としてさらに発展されることを、私たち公益社団法人乙訓青年会議所に集うすべてのメンバーが期待をしています。これからともに頑張っていきたいと思います！



出初式

一月六日(日) 長岡中学校グラウンドに於いて、長岡京市消防出初式が開催されました。長岡京市の地域防災を担う組織である



乙訓消防組合、市内の五つの消防分団、各企業で組織される自衛消防隊、並びに婦人部の皆さんら総勢約二百六十名が一堂に会し、消防活動の仕事始めに臨み、引き締めあっていました。

昨年度消防活動に寄与した分団員として乙訓青年会議所に所属するメンバーが表彰されました。これも地域のリーダーを育てる青年会議所運動の結実した一つの形ではないでしょうか。

その後、観閲・消防ポンプ操法の訓練展示・行進・八条が池での一斉放水が行われました。これからますます寒く、乾燥してきます。皆様火の元に気を付けてこの季節を乗り切りましょう！

(記事 堤淳太)

第二十二回「ジャズカップ」のお知らせ

高校生予選 二月十一日(月)、二月十七日(日) 桂高校および乙訓高校にて 中学生予選 二月九日(土) 八つの会場にて 決勝 三月十六日(土) 開催予定

乙訓JC説明会のご案内

メンバーの皆様には、乙訓青年会議所の魅力を再認識して頂くと共に、青年会議所活動を共に行える同志を増やす必要性を理解して頂く事を目的に、また一般の皆様には、乙訓青年会議所の事業や活動を紹介し、魅力を理解して頂き、「明るい豊かな社会の実現」に向けて共に行動出来る仲間になって頂く入会に繋げる事を目的に、二月から十一月までの毎月第一火曜日に、長岡京市産業文化会館三階第一会議室にて開催致します。皆様のご参加と入会候補者のご紹介の程、宜しくお願い致します。

新入会員紹介



末田博士さんのご紹介で入会させて頂いた鳥居淳希と申します。入会させて頂く流の中で出会った坂田直前理事長をはじめ、エネルギーを持った先輩方に刺激を受けて入会させて頂く事になりました。元々、三十をこえたら社会奉仕に携わろうと考えていたところに素晴らしい出会いを頂けた事に感謝いたします。真のリーダーを目指す事により人を作っていく事に尽力する事がこの出会いへの感謝なる事を信じて精進して参ります。鳥居淳希

一月例会・新春交歓会

一月八日(火) ハイアット・リージェンシー京都に於いて、一月例会および新春交歓会が開催されました。二〇一三年度の新体制のスタートにあたり、ご来賓、特別会員、二〇一二年年度卒業生、来訪JCのみなさん、そして多くの正会員が出席いただいた中、大変盛大な一月例会および新春交歓会となりました。

一月例会では、岡村理事長のゴングの点鐘により開会し国歌並びにJCソング斉唱、JCイクリード唱和、JCイミッション並びにJCイビジョン唱和、JC宣言朗読並びに綱領唱和に続きオプザーバー紹介がありました。理事長挨拶では、岡村理事長より本年度のスローガン「直心熱動」―次代へ繋げようJAYCEEの誇り、すべては輝く乙訓の為に―にかけた熱い想いや一年間の抱負、乙訓青年会議所の方向性を示され、またそうした方針に沿ってそれぞれの委員会が果たすべき役割が説明されました。正会員にはもちろん、特別会員や来訪JCの皆様にもその内容や想いがご理解いただけたと思います。続いて坂田直前理事長の挨拶、京都ブロック協議会山添会長、そしてスポンサーJCである公益社団法人京都青年会議所小林理事長から、大変心温

まるご挨拶をいただきました。その後、各委員会、会議体が順次登壇しそれぞれの議長、委員長から本年度の目標や活動にかける意気込みなどを発表され誕生者報告、諸報告が行われ齊藤監事、山下監事より講評いただき閉会となりました。

引き続きの新春交歓会では、オープニング映像の上映後、藤野委員の開会宣言で開会しました。その後、正副メンバーが登場し岡村理事長の挨拶が行われました。続いて来賓の方々にご挨拶を頂戴いたしました。そして、飛竹会会長邑楽吉計様のご発声による乾杯で宴席がスタートし、和やかな雰囲気の中、参加者による交流が行われました。宴席の中ほどでは、委員会紹介が行われ各委員会メンバーの一年間の活動における意気込みを発表していた



編集後記 切磋琢磨しながら読みやすい新聞作りを目指して頑張っていきたいと思っております。編集長 谷口直満

JC 運動情報委員会 委員長 崔祥龍 編集長 谷口直満 副編集長 中路耕太 編集委員 岩井泉二郎 黒川昌哉 高井茂行 堤淳太 中小路健吾